

ハチャメチャ家族の島暮らし



虫とけもの家族たち
ジェラルド・ダレル 著
池澤夏樹 訳
中公文庫
英国出身の著者がギリシャのコルフ島での少年時代を綴った回想録。変わり者の家族たちが繰り広げる信じてたい日常が笑えます。精緻に語られる島の美しさにも引き込まれる、日本発刊以来40年以上のロングセラー。

笑えないのに抱腹絶倒、のちにホッ



マンガ 自営業の老後
上田惣子 著
文響社
自営業に安穩な老後はない！死ぬまで働くつもりが、病気をきっかけにあらためて突きつけられた現実。未来の自分を助けてくれるのは過去の自分のみ。若いうちから取り組む必要が。YELL世代にこそお届けしたい老後の備え実践漫画。

秋のブックセレクション

考えたい、和みたくい

猫で彼氏…？ ほんわかカップルの和みデート



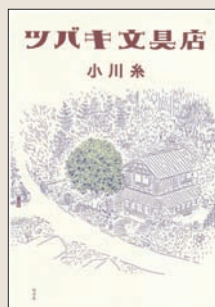
オデットODETTE 日当貼 著
フレックスコミックス
ドジだけど素直で大らかな彼女と、段取り上手で優しい彼氏のデートを描く漫画。彼氏のシュールな頭部について説明はないままですが、それを除いては「平凡」ともいえる二人の、朗らかに日常を楽しむ姿にほっこり。

ドイツ流「効率のいい」働き方とは



ドイツ人はなぜ、1年に150日休んでも仕事が回るのか
熊谷 徹 著
青春新書インテリジェンス
ドイツ人は、どんな働き方をしているのか？ドイツの労働環境をわかりやすく多角的に紹介しながら、どうしたら日本人が長時間労働から解放されるかを考える新書。

鎌倉に行きたくなる、心温まる物語



ツバキ文具店
小川 糸 著
幻冬舎
鎌倉を舞台に、祖母の死後、代筆業を不本意ながらも継いだ主人公が、依頼を通して人の温かさや、確執のあった祖母の愛情に気づき、成長していく物語。風景描写も細やかで歳時記のように楽しめ、読後は鎌倉に行きたくくなります。

ロックで食べていくために、したこと、しなかったこと



ロックで独立する方法
忌野清志郎 著
太田出版
放送禁止、発売中止…。何度もピンチに陥りながらも日本音楽シーンのトップを走り続け、他界後も世代を超えて支持される著者が生前、自身の音楽キャリアを語った骨太の書。やりたいことを続けるための覚悟と勇気を示してくれます。

スピーチライターの世界に飛び込んだ元OLの奮闘



本日は、お日柄もよく
原田マハ 著
徳間文庫
新人スピーチライターの奮闘を鮮やかに描くフィクション。発表当時の時代背景から大きく変貌を遂げた現在の世界であらためてこのベストセラーを読むとき、言葉に力を持たせるべく真剣に生きる人々の姿がより際立って見えてきます。

「働く」を考える時ぶつかる疑問に答えます



これを知らずに働けますか？学生と考える、労働問題ソボクな疑問30
竹信三恵子 著
ちくまプリマー新書
今号特集に登場の著者が、「働く」ことについて学生たちと一緒に考えていきます。ブラックバイト、ハラスメント、雇用契約、長時間労働など、社会人として知っておきたい知識を解説。

ピンチの後にチャンスあり、仕事の前後に読書あり…。決まり文句ですが、読書の秋ということで、YELLのオススメ本です。硬すぎず、軟らかすぎず、働くことを楽しめるようになる本、仕事の合間に和める本など8冊を選びました。